

鳥取市

精神障害にも対応した地域包括 ケアシステムの構築に向けた取組

鳥取市保健所では、地域移行・地域定着支援を切り口に、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行ってきた。

令和4年度から、精神障がい者が安心して自分らしく暮らすことができるよう、協議の場において、幅広い視点で検討・取り組みを行うとともに既存の協議体と連携し、にも包括の構築を目指している。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

鳥取県鳥取市（鳥取県東部圏域）



鳥取県東部圏域（1市4町）
鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R6年4月時点）	1	か所
市町村数（R6年4月時点）	1市4町	市町村
人口（R6年4月時点）	215,694	人
精神科病院の数（R6年4月時点）	5	病院
精神科病床数（R4年11月時点）	739	床
入院精神障害者数 （R4年6月時点）	合計	461 人
	3か月未満（％：構成割合）	72 人
		15.6 ％
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	49 人
		10.6 ％
	1年以上（％：構成割合）	340 人
73.8 ％		
	うち65歳未満	97 人
	うち65歳以上	243 人
退院率（R●年●月時点）	入院後3か月時点	％
	入院後6か月時点	％
	入院後1年時点	％
相談支援事業所数 （R6年4月時点）	基幹相談支援センター数	2 か所
	一般相談支援事業所数	9 か所
	特定相談支援事業所数	22 か所
保健所数（R6年4月時点）	1	か所
（自立支援）協議会の開催頻度（R5年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	6 回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R6年4月時点）	都道府県	有 1 か所
	障害保健福祉圏域	有 1 / 1 か所/障害圏域数
	市町村	無 0 / 5 か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

1 保健、医療・福祉関係者による協議の場の設置

- 鳥取県東部圏域精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議（以下、代表者会）
 - ・にも包括構築状況を確認しながら、目標を達成するために必要なやるべきことを協議する。
- 鳥取県東部圏域精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築連絡会（以下、実務者会）
 - ・課題解決のためにやるべきことの詳細策を考え、取り組む。

2 鳥取県東部圏域精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築関係職員研修会

3 病院と地域との連携した取り組み

- 病院スタッフとの検討会（取り組み内容及び個別支援）
- 病院スタッフ研修会
- 入院患者学習会
- 家族学習会
- 長期入院者の実態調査

4 既存協議体（自立支援協議会）との連携

5 ピアサポーターの活動支援

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

年度	内容
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市が中核市へ。県の地域移行の取り組みを引き継ぐ ・代表者会において、東部圏域の地域移行支援体制について合意を得て、取り組みを開始 ・実務者会において、地域移行に向けた具体的な協議を実施 ・精神科病院と取り組みについての検討会の開始 ・精神科病院スタッフ研修会・入院患者学習会の開始
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業(国補助事業)を開始 以前から開催していた代表者会及び実務者会を協議の場として位置づけ、にも包括の構成要素の1つである地域移行について引き続き協議 ・入院中の精神障がい者への「地域生活相談事業」開始(令和3年度で終了) ・精神障害者ピアサポートの活用に係る事業を開始
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ピアサポーター養成講座開催
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回ピアサポーター養成講座開催 ・代表者会及び実務者会における協議内容に、地域定着支援も加える
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・にも包括構築に向けた幅広い視点での協議開始
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業(国補助事業)を開始

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜昨年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度末)	具体的な成果・効果																																
①保健、医療、福祉関係者による協議の場の開催回数	4 代表者会 2 実務者会 2	4 代表者会 2 実務者会 2	協議の場の中で、新たな目標として「治療継続ができる体制づくり」「ピアサポーター活躍の場の拡大」が挙げられた。																																
②精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進に関する研修会の回数	1	1	事例を通して他職種や他機関との連携について学び、チームアプローチの必要性を再認識した。																																
③病院と地域との協働した取り組みの回数 (病院スタッフ研修会・入院患者学習会、個別対応に向けた検討会)	増加	増加 19回→20回	東部圏域にある4つの精神科病院に病院スタッフ研修会を行えた。病院スタッフの意識理解促進につながった。																																
④地域移行支援等サービスの利用状況	拡大	減少	サービス利用人数は減少したが、病院と地域との協働した取り組みにより、個別支援につながっている。																																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービスの種類</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5 (1月末現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域移行支援</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>地域定着支援</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自立生活援助</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>22</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	サービスの種類	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (1月末現在)	地域移行支援	1	6	9	10	4	5	5	地域定着支援	0	2	1	1	0	1	1	自立生活援助	0	0	3	9	22	15	13
			サービスの種類	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (1月末現在)																									
			地域移行支援	1	6	9	10	4	5	5																									
地域定着支援	0	2	1	1	0	1	1																												
自立生活援助	0	0	3	9	22	15	13																												

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜昨年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度末)	具体的な成果・効果
⑤長期入院者で、前年、退院可能な状態の患者の退院者数	増加	増加 11人→14人	病院と地域との協働した取り組みにより、地域移行の促進につながった。
⑥ピアサポーターの新たな活動の場の回数	拡大	拡大	地域のデイケアや民生委員を対象等、新たな活躍の場が増えた。新しい対象者への精神疾患への理解を促進するきっかけとなった。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・医療機関や地域の相談支援事業所及び行政との間で、顔の見える関係が構築されている。
- ・地域移行支援について検討を重ねてきたことにより、入院患者の地域移行支援において相談支援専門員がサービス利用前の早い段階から基本相談として関わる体制ができている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
協議の場の参加者と、会のあり方やにも包括構築に向けての思いが一致していない。	各協議の場のあり方を整理する。	行政	協議の場の整理、開催
		医療	協議の場への参加・協働を理解
		福祉	協議の場への参加・協働を理解
		その他関係機関・住民等	協議の場への参加・協働を理解
様々な理由で、治療中断して病状悪化につながるケースがある。各支援者が個々に合わせて支援しているものの、治療中断しそうな人への支援方法が明確になっていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・治療を中断してしまう理由が何かを明確にし、その対象者に向けてできることを検討して取り組む。 ・精神疾患への理解を深めるため、普及啓発に取り組む。 	行政	協議の場、研修会の開催
		医療	治療継続できる体制づくりの構築に協働
		福祉	治療継続できる体制づくりの構築に協働
		その他関係機関・住民等	講演会等への参加、精神疾患の理解を深める

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (今年度末)	見込んでいる成果・効果
①代表者会の開催回数	2回	2回	会のあり方を共有 課題解決に向けた意見交換
②実務者会の開催回数	2回	2回	課題解決に向けた取り組みを実践
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

鳥取市保健所が、病院や障害福祉相談支援事業所等と協働して協議の場を開催し、にも包括の構築を推進。また、にも包括構築推進関係職員へ研修会を行っている。

所管部署名	所管部署における主な業務
鳥取市保健所	にも包括構築推進 協議の場の運営 研修会の開催

連携部署名	連携部署における主な業務
行政保健部門担当課	地域における、精神の保健に関する相談・訪問指導等を実施
行政福祉部門担当課	重層的支援体制の構築 福祉に関する相談
鳥取市障がい福祉課	障がい福祉に関する事務 自立支援協議会運営

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	保健所が中心となり、にも包括構築の協議の場及び研修会を開催している。	鳥取市のメンタルヘルスに課題を持つ人への対応について現状把握及びアセスメントが必要。
医療	院長・看護師長・ソーシャルワーカー等をはじめ、病院関係者が協議の場に参加。病院関係者及び入院患者に地域移行等の勉強会を実施。	今まで築いてきた、病院・相談支援事業所等との円滑な連携は強みである。 退院支援の早い段階で、地域の支援者と連携ができています。
福祉	鳥取市障がい福祉課が、自立支援協議会を定期的に開催。地域課題・取り組みについて検討。	相談支援事業所等が、入院中の早い時期から退院支援に関わっている。
その他関係機関・住民等	協議の場に家族会、ベストフレンド(精神障がい者を支援するボランティア団体)が参加し、課題について共有・検討。 ピアサポーターとも連携を図っている。	それぞれの立場で精神障害者を支援する活動ができています。 家族会：家族の集まり(支え合い)や啓発等 ベストフレンド：当事者のサロン(居場所)等を開催 ピアサポーターの活動の場が広がりがつつある。

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議(代表者会)	病院長及び看護師長、基幹相談支援センター代表、相談支援事業所代表、市町担当課長、県所管課長、精神保健福祉センター所長、家族会会長、ボランティア団体代表、権利擁護センター代表、自立支援協議会代表、ピアサポーター、訪問看護ステーション連絡協議会長	2回/年	・課題、目指す姿を共有し、にも包括構築の進捗状況を共有	協議の場の参加者と、会のあり方やにも包括構築に向けての思いが一致していない。
精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築連絡会(実務者会)	病院ソーシャルワーカー及び看護師等、相談支援事業所相談支援専門員、精神保健福祉センター担当者、市町保健師・福祉担当者、訪問看護師	2回/年	・課題、目指す姿の共有 ・課題解決に向けた、具体的な活動について協議 ・治療を継続するために、それぞれの機関ができることについて協議	医療機関や地域の相談支援事業所及び行政との間で、顔の見える関係が構築されている。

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください
 ・協議の場で地域移行を切り口として協議を行ってきた。令和4年度からより幅広い視点で協議を行うこととなったが、参加者と、会のあり方やにも包括構築に向けての思いが一致していない。
 会のあり方の整理や、協議の場が既存の協議体等とうまく連動していくためのアドバイスを頂きたい。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和8年度まで

長期目標	協議の場で活発な意見交換ができ、課題解決に向けた取り組みを実践することができる
------	---

年度	実施内容	具体的な取組
R6年度	協議の場のあり方を整理 既存の会と課題を共有し、協議してもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場の目的を整理。 ・協議の場に参加する機関に出向き、協議の場では伺えなかったこと等聞いたり、話し合える関係を構築する。 ・既存の会で協議の場で話し合っている鳥取県東部圏域の目標や課題を共有する。
R7・8年度	協議の場で決めた目標を達成するための協議をし、取り組みを実践する	
R9年度	事業利用終了、自治体で推進	

9 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

短期目標 (今年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場のあり方を整理し、参加者に理解して頂く。 ・治療を継続することができるための取り組みを行える。 	
スモール ステップ	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場の参加者のもとに出向き、説明する。 ・実務者会で、治療中断しやすい人に対する具体的な取り組みを話し合う。 	
時期(月)	実施内容	具体的な取組
R6年7月	実務者会開催	治療が継続できる体制づくりについて協議
R6年12月	代表者会開催	会のあり方の整理、今年度の目標共有
R6年12月	実務者会の開催	治療が継続できる体制づくりについて協議
R7年1月	研修会開催	にも包括構築推進に関する研修の開催
R7年2月	代表者会開催	課題に対しての進捗状況を確認
通年	協議の場の参加者と関係構築	参加団体に出向く、関係する会議に参加する、日々の業務の中で参加者と情報共有する